

ミカンは

草でうまくなる

6



5月にポット苗を定植して5カ月後のヒメイワダレソウとミカン

苗で、挿し芽で、 ヒメイワダレソウを増やす

和歌山・岩本 治

寒さに強いクレマチス、
増やせるミカン

今回のテーマは、これまでの連載で紹介してきたヒメイワダレソウを実際に園地に導入して増やす際のポイントです。ヒメイワダレソウにはタネが少量しかできないので、苗の購入が基本となります。売っている苗には、大きく分けてクラピアとリピア（リッピア）があります。

クラピアは、宇都宮大学の故・倉持仁志先生が在来種を選抜して品種改良した系統です。S1、S2、K5、K7などの種類があります（現在S1は販売終了）。これらはすべて種苗登録されているので、無断での譲渡や販売、増殖は禁止。さらに、苗代も高価（6ポット5000円ほど）です。

一方、リピアは外来種。安価（40ポット4500円）で、種苗登録されていないので自由に扱えます。じゃあ、

植え方・増やし方の ポイント

ここからは定植時期や場所の選び方について紹介していきます。ポット苗を植えるときも挿し芽で増やすときも、基本は同じです。

時期 5月〜梅雨なら水やりいらず

定植時期は気温が上がってきてほとんど生育し、なおかつ植えてからの水やりが必要ない5月〜梅雨時期が一番です。9月の秋雨の時期でもいいですが、すぐにはあまり生長せず翌春から伸びていきます。

場所 日陰や湿気には弱い

植える場所は、日当たりがいいところ。常に日陰だと伸びが悪く、広がりにくかったり、枯れてしまったりします。また、ヒメイワダレソウは乾燥に強いですが湿気に弱いので、常に湿つ

施肥 肥料なしでよく育つ

一般に肥料を施している果樹園地の場合は、植える部分にわざわざ肥料を与える必要はありません。園地の土壌に肥料分があるので十分生育します。逆に肥料を与えすぎると、葉にうどんこ病が出てきます。病害虫には強いヒメイワダレソウですが、水はけの悪い場所、酸性土壌では、白絹病が出ることもあります。もし出てしまったら、石灰質の肥料でpH調整してください。また、ミカンに肥料を与えると、樹のまわりのヒメイワダレソウの地上部は肥料分が濃いため枯れることがあります。放っておくと復活するので心配ありません。

ちなみに私はミカンの施肥を3月ではなく、4月末〜5月初めに行っています。草生栽培の場合、3月に肥料を与

「リピアでいいじゃないか」と思うかもしれませんが、植える場所の気象条件や園主の好みによってはクラピアのほうがいいこともあると思います。

クラピアはリピアより花が少なく耐寒性に優れています。とくに新しいK7は耐寒性が強く、花が極めて少なく草丈はリピアより低い。リピアは私の園地で冬になると葉が茶色や黄色になり枯れてきます（春には自然復活する）が、このK7は一年中緑のままです。通常のミカン産地ならリピアで十分ですが、冬にたびたび氷点下になるような場所では、枯れてしまう場合があります。そういう地域では、耐寒性の強いK7のほうがいいでしょう。

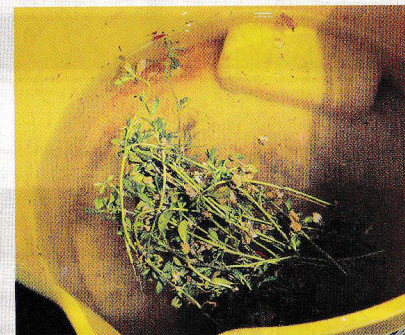
リピアはタネがほぼできないにもかかわらず、春から秋までたくさん花が咲きます。バラのようないい香りだと私は思います。花の香りが強くてたまらん」という方には花が少ないK7が少なめなK5をおすすめします。

ているような場所には植えないようにしてください。

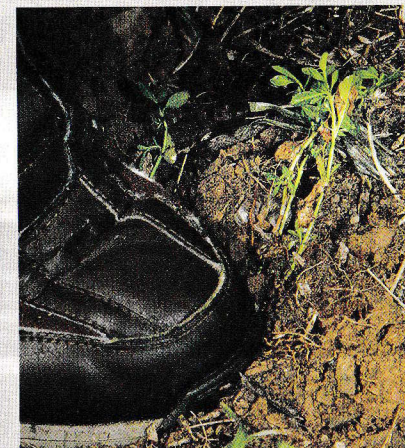
ヒメイワダレソウ（リピア）の挿し芽のやり方



1
地上部の茎を10～20cm切る。節からは根が出ている（赤松富仁撮影、以下A）



2
乾燥しないよう水を入れたバケツに入れて、植える場所に移動する（A）



3
深さ2～3cmの植え穴（溝）を軽く掘り、1カ所に3～4本置く。茎の先端の芽や葉が少し出るように土をかけてから、しっかり踏んで土を密着させ活着を促す。最後に水やりして作業完了（A）

えると、草にばかり肥料が吸われてしまい非効率です。春草は4月末～5月初めに花を咲かせると肥料の吸収が減り、そのころからミカンの花が咲き始めます。このタイミングで肥料を与えると、ミカンの新根がよく出る6月に有機肥料が分解され肥料分をムダなく吸えるのです。

除草 定植場所は雑草をなくす

有機栽培や草生栽培なら、植える部分の雑草は引っこ抜いてから定植します。慣行栽培なら、グリホサート系などの除草剤で雑草を枯らしてから植えると、広がりが早いです。

定植作業 節から出る根を活着させる

定植間隔は50cmぐらい。これ以上離れていると、間に雑草が生えて広がりにくくなってしまいます。実際に植える作業は苗と挿し芽で違います。苗を定植するときは、ポット苗の土が入る

くらいの穴を掘って植えて水をやるだけ。ただし、毎年苗を買って畑中に植えるのは莫大な費用がかかるので、私はリピアを自家増殖しています。

最初はポットや植木鉢などに挿し芽してから畑に移植しました。次に、植木鉢ごと畑に持って行き、鉢から畑に自然に伸ばす方法も試しました。鉢の回収が面倒だったので、かわりに100円ショップで深さのある紙皿を見つけてこれを使えばそのまま腐るだろうと考え、やってみました。

しかし、どれも二度手間で時間がかかることに気が付き、今は畑に生えているヒメイワダレソウの茎を切り、そのまま増やしたい場所に挿し芽しています（右ページ）。茎の節からも根が出ていますので、活着するとどんどん広がります。挿し芽は苗を植えるよりも枯れやすいので、一カ所につき3本の茎をコロニーのように植えています。

（和歌山県海南市）

苗木生産70余年の歴史 ブドウ苗木の生産販売専門店

健康な苗木でより良い果樹園経営を／

自園の優良な果実のなる枝を繁殖し揃った果実の生産を

令和3年産（R3年秋～4年春植え用）

予約受付中！

委託養成苗木（ご希望の台木に接ぎ木致します）

ブドウの品種解説が充実した

カラーカタログ進呈中

お名前、ご住所を記載のうえ、FAX、ハガキ、またはメールでお申し込みください。



ブドウ台木圃場

台木の品種（フィロキセラ抗体性、検定の結果ウィルスフリー）

テレキ5BB、テレキ5C、テレキ8B、S04

ワイン用に人気台木

3309、101-14、グロワールドモンペリエー、188-08



（一社）日本果樹繁殖協会賛助会員
山形県苗木果樹生産組合員

有限会社 芦沢農園

〒993-0022 山形県長井市芦沢 478

TEL 0238-88-1616 FAX 0238-88-3150

E-mail spsb56k9@galaxy.ocn.ne.jp